

生コン関連団体第2回集団交渉

# 再建へ、労使の連携急げ

労使それぞれの役割を果たそう

生コン産業政策協議会（生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・連帯労組関生支部）は、3月13日にアソシエーションで第2回集団交渉を開催した。

この日の交渉では広域協組代表が大坂地区での大同団結（3協組の合流）についての進捗状況を報告。出資金や人事、シェアなど11項目にわたって説明した。

これを受けて政策協議会の代表は「広域協組は歴史の教訓を全く学ぼうとしていない。広域協組設立時、松本理事長（当時）は『お願いから闘いだ』とスタンスを変えた。そして、労使が連携して取り組んだ結果、員外社加入が進み、適正価格の収受が実現した。

これは過去の話ではない。現在、和歌山地区・湖東地区・庄送などでは大きな成果を得ているが、それは労使が手を取り、ともに大企業と闘ったか

らこそ。労働組合のパワーがなければ員外社の加入促進も適正価格の収受も成功しない。それは過去と現在を見れば明らかだ。なぜ、この事実には学ぼうとしないのか。

今は業者のみで大同団結に向けた協議を進めているが、いつまでもこの状態で話を進めるなら労働組合は再建に協力できない。早急に労使が対等の立場で協議するテーブルをつくり、真剣に業界再建に取り組むべきだ」と強く迫った。

## ■次回(3/19)は有額回答を求める!

15春闘は次回で第3回は統一要求それぞれに対する回答を求める」とし、「第4回交渉(3/26)で妥結しなければ行動に入る」と再度通告した。

広域協組は過去・現在に学べ!



### 15春闘統一要求(骨子)

- 賃上げ・一時金
  - 本勤労働者 5万円/月額
  - 日々雇用 2,500円/日額
  - 年間一時金 250万円以上
- 運賃引き上げ(ミキサー・バラ他)
  - 大型 日額6万円、月120万円
  - 中型 日額5万円、月100万円
  - 小型 日額4万円、月80万円
  - ダンプ 1,000円/トン以上
- 出入業者の出入権保証
- 女性労働者の生理休暇を有給に

生コン産業政策協議会 (生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・関生支部) 大阪市西区川口2-4-28 Tel.06(6583)5546

# 15春闘共同ニュース

2015年  
3月13日号

### 適正価格収受に向け 京都協組は値上げに本腰を！

近畿の生コソ業界全体で値戻しの機運が高まっているなかで、京都協組が主体となった京都地区では未だに値戻しが打ち出されていない。洛南・洛中協組また員外社の方が値戻しに積極的だ。

京都協組加盟個社では値上げの必要性を感じながら、協組として京都協組は値戻しどころか値段すら打ち出していない。

政策協議会は「京都地区をまとめ、値戻しするための旗振り役になるべき」と強く求めた。

### ■員外社から「本気で値戻しを」の声

京都協組エリアの員外社代表はこの日の集団交渉に参加し、発言。「私たちから見ると、京都協組が本気で値戻しをしようとしているのかどうか分からない。今、値戻しに取り組まなければ先はない。京都協組が真剣に取り組むのであれば、員外社も値戻しする」と述べた。

### ■「値戻しの必要性感じる」京都協組



上記の員外社代表からの提起に、京都協組代表は「安定した和歌山、湖東・奈良の値上げに続き、京都も値上げの時期である」と発言した。



### 神戸地区の再建待ったなし！ 「背水の陣」で値戻し実現を

昨年、有力員外社が神戸協への加入意思を表明。12月12日に行われた近畿生コソ関連団体労使懇談会で、神戸協は「アウト社の加入促進と同時に3,000円の値戻しを打ち出し、2015年4月から実施する」と発表した。

しかしその後、加入意思を示していた有力アウト社が神戸協の対応に不信感を示し、1月に加入意思を撤回。さらに神戸協組加盟2社が脱退の意思を表明。これまで安定と混乱をくり返してきた教訓に学んだ神戸協組執行部は、今回、すぐに関係者との話し合いを実行。そして、有力

員外社が再度、加入に向けて話し合うことを確認。さらに、脱退表明していた2社の内の1社が脱退表明を撤回し、神戸地区の再建に向けて動いていくことが確認された。

中小企業の経営とそこで働く労働者の生活を守るため、さらにスピードを上げて一気に値戻しを実現しなければならない。

**回答次第で  
3月26日以降は、  
ストライキに!**

次回交渉は3月19日13:00

京都・神戸協組、今が再建のチャンス